

7月定例記者懇談会

令和7年7月25日（金）

11時00分～11時30分 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞 事務局：唐澤、鈴木、小笠原、濱

町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

町の主なトピックス（担当課PR分）

○箕輪町ウォーキンググランプリ 2025 について（健康推進課健康づくり支援係）

○箕輪町「広島平和学習」について（教育委員会）

○町発足 70 周年記念 デジタルフォトモザイクアートについて
（企画振興課みのわの魅力発信室）

○町発足 70 周年記念 未来へのタイムカプセルについて（企画振興課みのわの魅力発信室）

○SDGs 未来都市の選定について（企画振興課まちづくり政策係）

町長コメント

1 箕輪町ウォーキンググランプリ 2025 について (健康推進課健康づくり支援係)

○概要

別紙資料にて説明

資料

みんなで歩こう！箕輪町ウォーキンググランプリ2025

イベント実施期間：令和7年10月1日（水）～10月31日（金）

目的：ウォーキングイベントに参加してみんなで楽しみながら、日々のウォーキングを習慣化。歩数ランキングに刺激をもらいながら、仲間づくりのきっかけ、話題にしてもらう。仲間であいまい楽しみながら健康になって、みんなで「健康長寿の町」を目指す。

参加者募集中！

- エントリー受付期間
令和7年7月25日（金）～9月8日（月）まで
- エントリー方法
 - ①ながの電子申請サービス（インターネットでの申請）
 - ②健康推進課4番窓口

（参考）
R6年度の実績：参加者数699人、グループ数65団体、協賛事業所数17社

令和7年7月記者懇談会用資料 箕輪町役場健康推進課

協賛事業所募集中！

協賛品をご提供いただける事業所を募集します。

協賛事業所・団体申込用紙に必要事項を記入のうえ、**9月30日（火）**までに健康推進課にてお申込みいただきますようお願いいたします。

（郵便、窓口、メール、FAX受付可能）

- ご提供いただきたいもの
事業所のオリジナル商品、PR品など
- 協賛事業所・団体並びに協賛品の紹介
協賛いただいた協賛事業所のお名前と協賛品を本事業のPR用SNS及び町公式サイトにて紹介させていただきます。

みんなで歩こう！箕輪町

ウォーキング グランプリ 2025

スマートフォンアプリや町指定活動量計で
気軽に参加できる全町民参加型ウォーキングイベント！！

イベント期間
令和7年 **10月1日（水）** から **10月31日（金）** まで！

対象者 箕輪町にお住まいの方 または 箕輪町内にお勤めの方

エントリー期間
令和7年7月25日（金）～9月8日（月）
※エントリー期間終了後、途中からの参加はできません

エントリー部門

1. 企業・グループ
 - ※参加条件：2人以上での参加
 - ・企業で参加の場合はグループ名に必ず企業名をつけてください
 - ・表彰対象は5人以上の企業・2人以上のグループとなります
2. 個人
 - ・部門：30代以下 ◆ 40代 ◆ 50代 ◆ 60代 ◆ 70代以上

たのしくもちろよく歩いて
賞品をGETしよう！
参加者募集！

表彰 各部門上位の個人/企業グループ/グループの平均歩数上位の団体を表彰します。

賞品 一日平均7,000歩以上歩いた方から抽選で賞品をプレゼント！

協賛品 賞品に当選できなかった参加者全員にご協賛企業提供品をプレゼント！

Instagramで
参加者を募集しよう！

ACE RENOBY

みんなで歩こう！箕輪町

スマホウォーキングアプリや町指定活動量計で
気軽に参加できる全町民参加型ウォーキングイベント！！

アプリ内イベントページでは各個人やグループのランキングが表示され、参加者同士が刺激しあい、楽しみながらイベントに参加できます！

箕輪町の公式サイトでは各部門ごとのランキングをご確認いただけます。
<https://www.town.minowa.lg.jp> キャンペーンページにてご確認ください。

日々の歩数履歴を確認でき、運動意識が向上します！！

参加方法は2種類！

1. スマホウォーキングアプリ
 - ① エントリー方法
町公式サイト（申込みフォーム）からエントリー、または申込み用紙に必要事項を記入し提出
※下記のQRコードから申込みできます。
※申込み用紙は健康推進課4番窓口で配布します。
 - ② エントリー完了後
エントリーいただいた方（代表者様）宛にスマホアプリのインストール方法とイベントコードを記載したご案内チラシ、アプリ内でイベント参加時に必要な個人IDをお知らせします。
 - ③ 参加準備
案内チラシを参考にウォーキングアプリをインストール（本名や身体情報・ニックネーム等を登録）イベントページにおいてイベントコードと個人IDを登録
2. 町指定活動量計
 - ① エントリー方法
町公式サイト（申込みフォーム）からエントリー、または申込み用紙に必要事項を記入し提出
※下記のQRコードから申込みできます。
※申込み用紙は健康推進課4番窓口で配布します。
 - ② エントリー完了後
町指定活動量計参加の方はスマホアプリのインストールが不要となります。データ交換のため、活動量計の電池での充電が必要となります。
※最終締め切り日：令和7年10月6日（水）

※町指定活動量計は、健康推進課またはげんきセンターで購入できます。

エントリー期間！※最終受付の期日は、令和7年10月6日（水）以降となります。

1. 企業・グループ
 - ※参加条件：2人以上での参加
 - ★企業での参加はグループ名に必ず企業名をつけてください
 - ★表彰対象は5人以上の企業・2人以上のグループとなります
 - ※申込内容
企業名/グループ名/代表者名/住所/電話番号/メールアドレス/生年月日/年代/町指定活動量計使用の有無
2. 個人
 - ★部門：30代以下 ◆ 40代 ◆ 50代 ◆ 60代 ◆ 70代以上
 - ※申込内容
氏名/生年月日/電話番号/住所/電話番号/メールアドレス/年代/町指定活動量計使用の有無

イベント期間中

スマホアプリ参加：スマホでカウントされた歩数が日々反映されます。
町指定活動量計参加：読み取り場所において読み取った時点までの歩数を、定期的に反映します。

イベント終了後

表彰：各部門上位の個人/企業グループ/グループの平均歩数上位の団体を表彰します。
賞品：一日平均7,000歩以上歩いた方から抽選で賞品をプレゼント！
協賛品：賞品に当選できなかった参加者全員にご協賛企業提供品をプレゼント！
※表彰対象は5人以上の企業および2人以上のグループとなります。

お問合せ 箕輪町役場 健康推進課 0265-79-3118

(担当) 本事業は、イベントを通じて楽しんでウォーキングしていただき、みんなで健康長寿になることを目標としています。イベント内容はイベント実施期間の1ヶ月間の平均歩数でランキングをしていくイベントになります。

2 箕輪町「広島平和学習」について（教育委員会）

○概要

別紙資料にて説明

資料

箕輪町「広島平和学習」における学習内容等について

箕輪町教育委員会

1 事前学習会

(1) 6月26日(木) 18:00~20:00 町文化センター2階 研修室1・2

内容 顔合わせ(町長挨拶、自己紹介・グループング等)、
事前学習①(参加動機発表・学習資料配布等)

(2) 7月28日(月) 18:00~20:00 町文化センター2階 研修室1・2

内容 結団式(町長挨拶、決意表明等)…一般公開有
事前学習②(追加資料配布及び当日確認等)

2 広島平和学習 8月5日(火)~6日(水)

◎参加予定人数

小学生親子:7組15人、中学生:9人、引率7人 計31人

◎研修報告書を事後のまとめの会で提出していただきます。

8月5日(火)

4:00集合、4:30出発

箕輪町役場—伊那IC==中央・名神・山陽道(休憩4回;昼食含む)==

14:20 14:25 ~ 17:15 朝食・昼食は各自で支払い

広島IC—原爆ドーム・平和記念資料館等見学(現地ガイド同行)—

17:30 20:00~20:40

ホテル(宿泊)・・・(夕食場所予約済、支払いは各自)・・・ホテルで振り返りの会

8月6日(水)

6:30 7:00 8:00 ~ 8:50

ホテル(朝食済ませ、荷物積み込んで)—平和記念公園・・・平和記念式典

9:45 10:00 ~ 12:00

—広島国際会議場フィニッシュホール「全国こども平和サミット」【申込み済】—

(昼食は広島市内か途中のサービスエリア)

23:00頃帰着予定

—広島IC==山陽道・名神中央道==伊那IC—箕輪町役場

昼食・夕食は各自で

3 事後学習及び報告会

(1) 9月11日(木) 18:00~20:00 町文化センター2階 研修室1・2

内容 「広島平和学習」まとめ、
報告書提出、グループごとのまとめ①
報告会役割分担及び準備等

(2) 9月18日(木) 18:00~20:00 町文化センター2階 研修室1・2

内容 「広島平和学習」まとめ、
グループごとのまとめ②
報告会役割分担及び準備等

(3) 10月1日(水) 18:00~20:00 町役場 3階 講堂

内容 「広島平和学習」報告会(町長挨拶、参加者の報告)…一般公開有、
報告書(冊子にして)の配布

※ 報告書集(報告書の冊子)は、9月11日に原稿を集め、冊子にして10月1日に配布予定。(平和学習参加者と町関係者、報告会一般参加者、各学校等に配布。100部作製予定)

(担当) 昨年から始めました広島平和学習を今年度も実施します。

参加予定者が小学生親子 7 組 15 人、中学生 9 人、引率 7 人、合計 31 人となっております。
引率団長は町長です。

折り鶴に託す思いということで、昨年度参加した 6 年生 (現在中学 1 年生) が中心になって、今年度の方々にバトンを渡していくことを考える中で、折り鶴をみんなで折って、今年を目参加者に手渡し、当日それらを持って参加します。

(町長) 昨年は若干手探りの部分もありましたが、参加された方は 8 月 5 日 6 日の当日だけではなくて、事前学習、また授業学習発表会等、そういった一連の学習を通じて、戦争のこと原爆のこと非常に勉強になったと思っています。

3 町発足 70 周年記念 デジタルフォトモザイクアートについて (企画振興課みのわの魅力発信室)

○概要

別紙資料にて説明

資料

町発足70周年記念 デジタルフォトモザイクアートについて

町発足70周年を記念して、箕輪町内で撮影した写真を募集し、デジタルフォトモザイクアート作品を作成します。

完成したデジタルフォトモザイクアートは、9月20日(土)に開催する箕輪町発足70周年記念式典でお披露目し、専用サイトからもご覧いただけます。

● 写真募集期間 ● 2025年7月25日(金) 午前0時～8月24日(日)

投稿方法



STEP 1 箕輪町内で写真を撮影する (過去の写真でもOK)



STEP 2 右の二次元コードから専用サイトにアクセス

(7月25日より投稿できます)



STEP 3 投稿フォームに必要事項を記入し、写真を投稿してください



専用サイト

完成イメージ



- 写真の投稿は専用サイトからのみの受付となります。
- 投稿できる写真はJPG画像、PNG画像となります。
- 写真は横長で撮影したものを投稿してください。
- 一人何枚でも写真を投稿することができます。
- 規定枚数1,000枚に達し次第、受付終了となります。

(担当) 皆さんから募集した写真を組み合わせて完成イメージのようなデザインを組み合わせて製作するという企画です。完成したものは、9月20日に開催する70周年の記念式典でお披露目して、あと専用サイトの方にもデータを掲載する予定です。全部で1000枚に達したところで受付終了とさせていただきます。お1人様何枚でも投稿することができまして、基本的には横向きの3対4のものが基準となっており、それ以外のサイズのものは、左右を切ったり向きを変えたりする形で、組み合わせさせていただく予定です。箕輪町内の写真であれば、人が写っていても、景色の写真でも何でも大丈夫です。1枚ずつしか投稿できませんので、複数

投稿いただく方は、何回かに分けて投稿いただきます。

追加で 8 月 9 日土曜日に開催するフィルムフェスティバルについて、一次、二次の募集が終わりまして、若干席に余裕がございますので、当日券を用意する予定です。

(記者)町内の写真であればということですが、町民以外でも投稿できますか。

(担当)町民に限らず、町内で撮影したものであれば投稿可能です。

(記者)常時展示の予定はありますか。また、展示されるものはどれくらいのサイズになりますか。

(担当)記念式典では会場の外のロビーを想定しているほか、他の会場での展示も検討しています。サイズは、横 2 m×縦 1 m位を予定しています。

(記者)専用サイトからの応募になりますが、実際の写真の現物とかでの応募はできるのでしょうか。

(担当)インターネットが使えない方など、ご希望ありましたら、写真を役場にお持ちいただければスキャンして代理で投稿させていただきます。

4 町発足 70 周年記念 未来へのタイムカプセルについて (企画振興課みのわの魅力発信室)

○概要

別紙資料にて説明

資料

町発足 70 周年記念 未来へのタイムカプセルについて



- ◆ 10年後の自分や家族、大切な人への手紙を書き、タイムカプセルに入れ保管し、10年後の町発足 80周年（2035年）時にお届けします。
- ◆ 対 象 差出人が町内在住の方
- ◆ 募集期間 8月1日（金）～12月1日（月）
- ◆ 投函場所 役場・文化センター・みのわBASEに設置する専用ポスト（一部イベントでも設置）
- ◆ そ の 他 広報 8月号及び町HPに専用用紙を掲載するほか、ポストに専用封筒・便箋を据置
- ◆ 60周年タイムカプセル投函数：966通

(担当) 今年 5 月に 60 周年のタイムカプセルを開封しましたが、今回 70 周年ということで 10 年後 80 周年に向けて、タイムカプセルの方を再度行います。対象については差出人が町内在住の方で、募集は 8 月 1 日から 12 月 1 日になります。タイムカプセルの封印については、12 月のクリスマスコンサートを予定しています。

5 SDGs未来都市の選定について（企画振興課まちづくり政策係）

○概要

別紙資料にて説明

資料



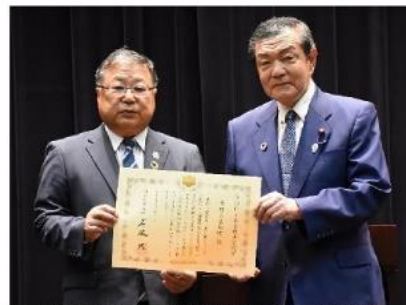
箕輪町が「SDGs未来都市」に選定されました



「つなぐ えがく みなの未来」～SDGsで描くみなの未来～

令和7年7月22日（火）に、令和7年度（2025年度）「SDGs未来都市」選定証授与式が、内閣府（中央合同庁舎8号館・講堂）行われ、伊東良孝 内閣府地方創生担当大臣から、白鳥政徳 箕輪町長に選定証が授与されました。今年度は、全国で9都市（9自治体）が選定され、長野県内では9番目になります。

（2018:長野県、2020:大田市、2021:長野市・伊那市、2022:上田市・根羽村、2023:松本市、2024:安曇野市）
累計で、SDGs未来都市：215都市（216自治体）、自治体SDGsモデル事業：70都市



伊東内閣府地方創生担当大臣と白鳥町長

1 SDGs未来都市とは

SDGsの理念に沿った取組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に優れた取組みを提案する自治体として、内閣府から選定される都市・地域のことです。

2 SDGsの推進に資する三側面（経済・社会・環境）の取組内容

（1）経済分野 ⇒ 安定的な産業基盤に向けた経営支援

- 産業用地の確保、事業者支援
- 農業拠点施設（みのわテラス）の充実



（2）社会分野 ⇒ 多様性を踏まえた安心安全なまちづくりの推進

- 充実している子育て環境の維持
- 災害に強いまちづくり



（3）環境分野 ⇒ 脱炭素化の実現に向けた取組の推進

- 脱炭素化農業の推進
- 森林ビジョンの推進
- 観光地のオーバーツーリズム対策



＜三側面をつなぐ総合的取組み＞
もみじ湖プロジェクト

＜総合的取組の概要＞

- オーバーツーリズム対策
- 企業CSV、地域連携強化
- 産学官金の連携
- 労働力・担い手の確保、維持
- 郷土愛の醸成

※ CSVは「Creating Shared Value」の略で、「共通価値の創造」「共有価値の創造」

3 SDGs未来都市の選定に係る自治体SDGs推進評価・調査検討会委員コメント

- 1・2・3次産業のバランスがとれた将来計画である。外国人住民の教育やウェルビーイング（多様性）を配慮した町政からも、持続可能な明るい未来が期待できる。
- 魅力的な資源がある地域である。観光資源もあり、それを、経済・社会・環境に組み込むことで一層の経済的な発展を見込める地域である。 など

4 今後について

選定された都市は、国と連携しながら提案内容を更に具体化した計画し、3年間の計画を策定することとしております。2030年のあるべき姿の実現に向けて、従前からのSDGsの理念に沿った各種施策の取組み、また、選定による国のフォローアップ（助言・支援）を受けながら、町民の皆さん、企業の皆さん、地域と一丸となって取り組んでまいります。

5 担当課

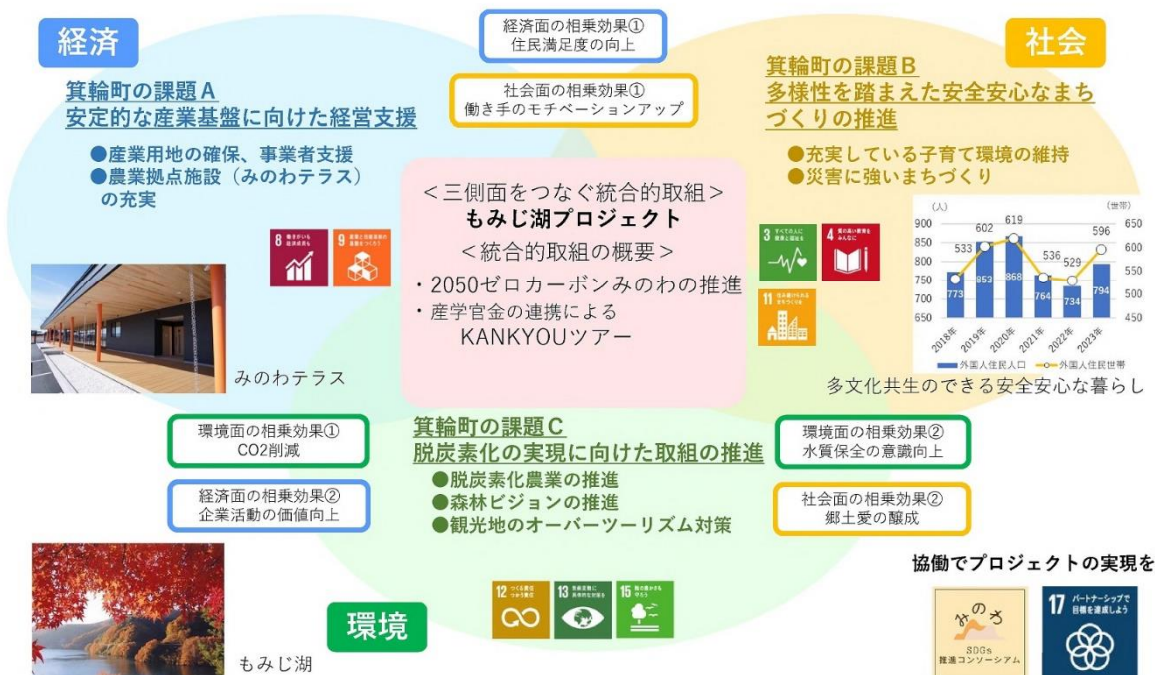
企画振興課 まちづくり政策係 電話 0265-79-3152、E-mail: kizai@town.minowa.lg.jp



2025年度SDGs未来都市計画概要（様式2）

計画のタイトル：「つなぐ えがく みのわの未来」～SDGsで描くみのわの未来～

提案者名：長野県箕輪町



2025年度SDGs未来都市 制度概要

SDGs未来都市計画に基づく事業を「新しい地方経済・生活環境創生交付金(以下「第2世代交付金」とする)」の優先的な支援対象とすることにより、さらなる地方創生の進展を図る。

- これまで「自治体SDGsモデル事業」に選定した10自治体のみに補助金による支援を行ってきたが、全ての「SDGs未来都市」を資金的支援の対象とする。
- 既に選定された「SDGs未来都市」(207自治体)が策定した「SDGs未来都市計画」に基づく事業に対しても、第2世代交付金の優先的な資金的支援の対象とする。

	2024年度までの制度	2025年度からの制度
支援内容	自治体SDGsモデル事業に選定した10自治体に資金的支援	・全てのSDGs未来都市が支援対象 ・SDGs未来都市計画に基づく事業について、優先的に第2世代交付金を付与
支援額	定額1,000万円＋ 上限1,000万円(補助率1/2)	都道府県・中枢中核都市：上限15億円(補助率1/2) 市区町村：上限10億円(補助率1/2)
支援期間	1年間	原則3か年度、最長5か年度
弾力措置	自治体ごとの交付金数の上限に加え1件の申請が可能	第2世代交付金の上限(10件)に加え2件の申請が可能

2025年度SDGs未来都市 2025年度選定の概要

- 中長期を見通した持続可能なまちづくりに向けて、地方創生に資する、地方自治体によるSDGsの取組をさらに推進していくため、モデルとなる先進事例の創出と普及展開が必要。
- 経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果、新しい価値の創出を通じて、持続可能な開発に取り組む地方自治体を対象に以下の支援を実施。

01 「SDGs未来都市」の概要

先進的な取組を講じる自治体を「SDGs未来都市」に選定し、地方創生の一層の促進を図る。

02 スケジュール※変更の可能性があります

- ・受付期間：4月1日～4月10日
- ・審査期間：4月15日～5月中下旬ごろ
- ・結果公表：5月中下旬
- ・授与式：7月下旬ごろ

03 選定によるメリット

- 1 「SDGs未来都市計画」に基づく事業は、新地創交付金の優先的な資金的支援の対象となる。
- 2 自治体SDGs推進評価・調査検討会によるフォローアップ(助言・支援)を受けることができる。

【問い合わせ先】
 内閣府地方創生推進室 SDGs班
 メール：a.local-governments-sdgs@cao.go.jp
 電話：03-5510-2199

- 選定証授与式の際の写真は、内閣府において撮影した写真を何枚かいただいております。
また、職員がスマホですが、撮影した写真もありますので、データが必要な場合は、企画振興課まちづくり政策係までご連絡ください。
- データとしては以下のほか、大臣からの授与時、集合写真、認定証、認定通知、内閣総理大臣祝意メッセージなどがあります。

伊東大臣からの選定証授与



9選定都市と伊東大臣との集合写真



SDGs未来都市 選定証



石破茂内閣総理大臣祝意メッセージ

「SDGs未来都市」に選定された都市の皆様へ
 令和七年（SDGs未来都市）の選定にあたり、皆様から素晴らしいご提案を頂いたことに、感謝申し上げます。
 SDGsの理念である「誰一人取り残さない」持続可能な経済、社会の実現は、我が国の「地方創生」の実現にも資するものです。
 提案自治体の皆様においては、少子高齢化や労働人口の減少などの厳しい課題を正面から捉え、その解決に向け、地域の特性や強みを活かした経済・社会・環境の三側面を統合する新たな価値の創出に取り組んで頂いております。
 国や地方、企業等の地域における多様なステークホルダーのそれぞれが、役割を最大限に発揮し、地方創生の〇を力強く推進していく必要があります。「民」の力を最大限にいかしつつ、国としても、地方創生・伴走支援制度の拡充による人材支援、倍増した新地方創生交付金の使い、勝手向上、地域の各種データの視覚化等を支援し、自ら考え、行動する地方を応援することと、令和の日本列島改造を進めてまいります。
 「SDGs未来都市」に選定された皆様の創意工夫にあられた取組に心より敬意を表すると共に、成功事例が国内外に広く共有され、SDGsの達成と地方創生の実現に向けた大きな力となることを期待し、今回選定された自治体の全ての関係者の皆様に心よりお祝い申し上げます。
 令和七年七月二十二日
 内閣総理大臣 石破 茂

(担当)7月22日に、SDGs未来都市選定の授与式が内閣府で開催され、内閣府地方創生担当大臣から選定証が町長に授与されました。今年度は全国で9自治体が選定され、長野県内では9番目の選定になっています。町としては町民の皆さんまた企業の皆さん、地域の皆さんと一体的にSDGsの推進を図っていきたく思いますのでお願いします。

(町長)70周年を契機に未来に向けて新しい価値観、価値を作りたいということの一つとして、SDGs未来都市の選定をお願いしてまいりました。おかげさまで国の方から一定の取組みが評価をされたというふうに思っていて嬉しく、ありがたく思っています。

経済分野、社会分野、環境分野それぞれの三つの側面から事業実施をしていますが、これを具体的な取組みにできるかがこれからの勝負だと思っています。

SDGs未来都市の選定はいただきましたので、こういった看板を使いながら、町のステータスや取組みが評価されてワンランク上がるような、成果が上がるような状況になってくれれば嬉しいと思いますし、これからのSDGs17項目を取りまとめたような政策体系をもう一度作

り直すということも必要だと思っています。いずれにしてもこういった形で選定をされ、選定証をいただきましたので、職員とともに、今後の事業展開の起爆剤になったと思っています。

○町長コメント

参議院議員選挙中に在留外国人やインバウンドが背景にあったと思いますが、外国人に対することが論点になったと思っています。

日本の社会制度の中で外国人はもとより日本人もそうですが、社会のルールを守るという論点は、あまりにも当然のことが言われた感じもしまして、それより何より、国籍の問題があるので、国対国の問題というのとはともかくとして、地域社会の中で日本人と外国人を国籍で区別するのではなくて、いかに共生していくか、地域の一員としてお付き合いをするというか一緒に地域をつくるというか、いわゆる共生と言われるところが論点になるべきであって、何か違う論理が働いていたのが非常に違和感を覚えました。

町は 3%を超える外国人の方がいろんな形で生活をしているわけで、その皆さんと共生をしていくことは、最も必要なことだと思っています。

今年そういった意味での多文化共生に関わる計画作りも想定していますが、何か違った論点にならなければいいなと思っています。

この点においても決してそんな方向に行くとは思っていませんし、県の計画も作られると聞いていますので、文字通りの多文化共生のまちになりたいと思っています。

明日みのわ祭りが開催されます

また報道等ご協力いただければありがたいと思います。

箕輪町は、他の市町村のような歴史とか伝統文化に位置づいているとか、特別な場所があって、そこで実施をしているというお祭りではありません。あくまで実行委員会が主体になって、町が裏方になって手づくりの祭りで特別なお祭りではないですが、それが故に、町民の皆さんがいろんな形で参加をしていただいていて、ありがたく思っています。

特に今年度は箕輪中学校の3年生が、箕輪学の一環として、実行委員のフォローをしてくれたりチラシを配ったりイベントをしたりということがありますが、そういった児童生徒の取り組みがあるのは大変我々とすれば願ったり叶ったりといえますか、本来の町の趣旨に合っているので我々も協力していきたいと思っています。

もう一点、職員採用の件で、なかなか定期採用で十分対応できない状況になってきています。

そんなこともありまして、6月の議会の中で地域おこし協力隊を使って、制度を活用しながら職員として活用したいということを議会で認めていただいて、男女共同参画に関わる部分について使いたいと思っています。

それと併せて、人材確保ができないので、定期採用からいわゆる通年採用の形を少しずつ取り入れていきたいと思っています。

8月1日付でも一般事務で、社会人経験のある者を採用いたします。

他も保育士等もこれから考えていかなきゃいけないと思っていて、やはり公務に就く皆さんの人材確保って非常に難しくなっています。欠員等が生じている状況ですので、そういったことも含めて職員の採用方法については、もう少し検討しなきゃいけない状況にあるので、8月1日付で採用して人材確保していきたいと思っています。

(記者)人材の通年採用について、具体的に条例等を含めて考えていくということになりますか。

(町長)4月に定期採用するといっても、以前のような倍率にならないので、人材を確保するには社会人経験とか、現在他の公務で働いている方とか、カムバックなど子育てや介護で退職を余儀なくされた職員の採用など、そういった形で通年に広げていきたいと思っています。

(記者)話に出た地域おこし協力隊の方は、男女共同参画の専門知識を持った方でしょうか。

(町長)コーディネーター的な役割で採用したいと思っています。